

温室ブドウの害虫コナカイガラムシ類を 効率よく抑え込む方法を見つけました



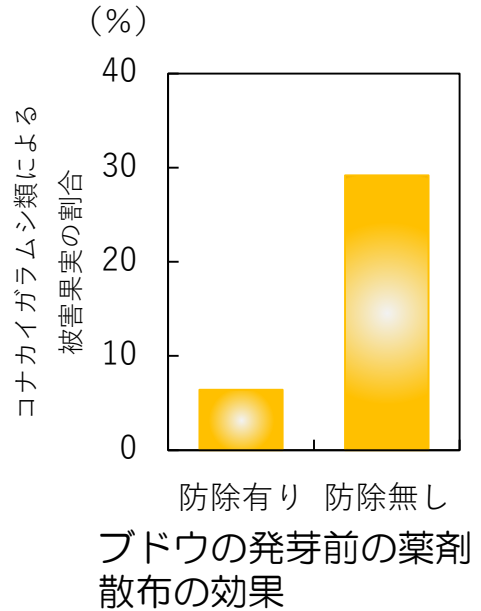
フジコナカイガラムシ



クワコナカイガラムシ



コナカイガラムシ類の排泄物で黒く汚れたブドウ



開発のねらい

温室でのブドウ栽培では、コナカイガラムシ類（フジコナカイガラムシ、クワコナカイガラムシ）が果実を汚して商品価値が著しく低下する被害が増えています。そこで、コナカイガラムシ類の被害を効率よく抑え込む方法を明らかにしました。

新技術の概要

- ブドウに使える薬剤のうち、「トクチオン水和剤」と「トランスフォームフロアブル」はコナカイガラムシ類を抑え込む効果が高いです。
- 効果の高い薬剤をブドウの発芽前に散布することで、コナカイガラムシ類の発生と果実の被害を低く抑えることができます。

活用場面

本技術は岡山県内の温室ブドウ栽培に適用できます。果実の商品化率が高まることで、ブドウの出荷量が増加し、農家所得の向上が期待できます。